

年間20ミリSvを基準に

避難区域 三月底目途に再編へ

政府は十二月二十六日、福島第一原子力発電所事故収束計画のステップ完了を受け、災害対策のために設定した避難指示区域を、三月底を目途に、年間積算線量のレベルに応じ、「避難指示解除準備区域」、「居住制限区域」、「帰還困難区域」に再編する見直しに向けた基本的考え方と、今後の検討課題をまとめた。発電所から半径二十キ

禁止の警戒区域に、半径二十キが以て一年間の累積線量が二十ミリSvに達するおそれのある地域は、計画的避難区域に設定され、住民や地域社会にとり、大きな困難となっているところ、去る十二月十六日、「事故そのものは収束に至った」のが確認されたこと、政府・原子力災害対策本部では、これら区域の見直しに向け、具体的な検討を開始することとした。

見直しに当たっては、①住民の安全・安心の確保の徹底した除染の実施として見直すこととしており、三月底を目途に設定するべく、速やかに自治体など協議を開始する考えだ。具体的には、年間積算線量が二十ミリSv以下であることが確認された地域は、「避難指示解除準備区域」に設定し、当面の避難指示は継続するものの、除染、インフラ復旧・復興に向けた支援を早急に進め、段階的に避難指示を解除していく。年間積算線量が二十



放射性物質による汚染

英知集めて除染・廃炉

原産会長挨拶 福島に研究拠点を 原産協会は、十一月十一日、新年会員交流会(II写真)を都内で開催した。原産会長は、今年も引き続き、中小企業等へのグループ補助金等に引き続き、福島第一原子力発電所事故の除染・廃炉を進めるには、一国内だけの閉ざされた枠の中ではなく世界の英知を集めて国際プロジェクトの推進を図っていくべきだと述べた。

来年度からの理事二名を公募

原子力機構は現在、理事二名の公募を行っている。主な業務として総務、法務、安全統括、広報、原子力緊急時支援・研修などを担当する理事と、地層処分研究開発、核燃料サイクル関連研究開発、幌延・東濃・人形峠の各センターなどを担当する理事。任期は四月一日から二年、年収は約千三百四十万円。四日現在の応募状況は各理事

戸谷理事の後任に伊藤洋一氏

原子力機構は六日付で、退任した戸谷一夫理事の後任に伊藤洋一・文部科学省大臣官房審議官を任命した。任期は三月末まで。

研究開発局原子力課長に生川氏

原子力機構は六日付で、研究開発局原子力課長(宇宙航空研究開発機構経営企画部次長)生川浩史。(6日付)研究開発局長(原子力機構理事)戸谷一夫。

枝野経産相 年頭所感

1. 「攻め」の一年に向け
新しい年を皆様と迎えられることを嬉しく思います。本年が、皆様にとって実り多い年となるよう祈念申し上げます。

2. 原発事故への対応と大震災からの復興
電力の需給も厳しい状態が続きました。私自身、内閣官房長官として、また、経産省大臣としてこれらの事態に対処し、原子力発電所の安全確保の大切さ、エネルギーの安定的な供給の重要性を痛感いたしました。

いたこれらの課題の解決にむけて、安全・安心を第一に「攻め」の姿勢で臨む一年にしたいと考えています。

2. 原発事故への対応と大震災からの復興
電力の需給も厳しい状態が続きました。私自身、内閣官房長官として、また、経産省大臣としてこれらの事態に対処し、原子力発電所の安全確保の大切さ、エネルギーの安定的な供給の重要性を痛感いたしました。

「攻め」の姿勢で臨む一年にしたいと考えています。

2. 原発事故への対応と大震災からの復興
電力の需給も厳しい状態が続きました。私自身、内閣官房長官として、また、経産省大臣としてこれらの事態に対処し、原子力発電所の安全確保の大切さ、エネルギーの安定的な供給の重要性を痛感いたしました。

「攻め」の姿勢で臨む一年にしたいと考えています。

2. 原発事故への対応と大震災からの復興
電力の需給も厳しい状態が続きました。私自身、内閣官房長官として、また、経産省大臣としてこれらの事態に対処し、原子力発電所の安全確保の大切さ、エネルギーの安定的な供給の重要性を痛感いたしました。

福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ

福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ
福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ

福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ
福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ

福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ
福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ

福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ
福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ



福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ

福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ
福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ

福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ
福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ

福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ
福島に医療、再生エネ 研究開発拠点を整備へ

福島第二の緊急事態解除を宣言

福島第二の緊急事態解除を宣言
福島第二の緊急事態解除を宣言